

JRC態度目標

気づき
考え
実行する

令和4年度 青少年赤十字 リーダーシップ・トレーニング・センター

JRC実践目標

健康・安全
奉仕
国際理解・親善

中学生

中学校トレセン参加校
南郊中・橋北中・芸濃中・橋南中・南が丘中・
西橋内中・久居東中・豊里中

令和4年8月1日(月)・2日(火)

研修「RC・JRC」

最初の研修として赤十字の歴史や青少年赤十字活動について学び、意見を交わしました。

8月1日・2日の2日間にわたって開催された中学校トレセンには8校21名の生徒、25名の指導者が参加。赤十字や青少年赤十字への理解を深めるとともに、さまざまな研修を通じてリーダーとして必要な自主性・自発性を身につける機会となりました。

救急法

心肺蘇生法とAEDの活用について実習。実際に救助の場面に遭遇したときのための知識・技能を身につけました。

VS

ボランタリー・サービス

レクや食事、生活業務の3つのVSに分かれて、2日間の活動を生徒たちが自分自身で考えるのもトレセンの特徴です。

グループの仲間同士、意見を出し合い、積極的に行動していきました。

研修「良いリーダーとは」

グループごとのストーリーづくりでは、講義で学んだ「リーダー」と「フォロワー」の大切さを実践的な活動を通じて身につけました。

初めて会った相手ともゲームを通して気軽に話ができるように!

アイスブレイキング

「グー・チョキ・パー」を自由に身体で表現するゲームを実施。ユニークな表現が続出し、会場の雰囲気が一気に和みました。

トレセンは先生の指示を待つのではなく、次の行動を「掲示板」で確認しながら自発的に行動します。

当初は他校の仲間と初めて顔を合わせる機会に緊張気味の様子を見せていた生徒たちも、アイスブレイキングですぐに打ち解け、さまざまな研修に積極的に取り組んでいきました。

リーダーのあるべき姿を学ぶ研修を経て、1日目の最後に全体のリーダーを決める「村長選」で

は、何人もの生徒たちが勇気を持って手を挙げる姿が。2日間で学んだ内容をグループごとに劇にして発表する「スタンツ」ではメンバー同士が劇の構成や見せ方など活発に意見を交わし合い、個性豊かな劇を披露。先生チームも加わって、大いに盛り上がりしました。

研修「スタンツ」

2日間で学んだ内容を5分程度の劇にして発表。時間をかけて内容を練り上げました。「個人個人の長所が混ざり合って良いチームが生まれる」と実感できた」という感想も。

村長選

リーダー役の「村長」と「助役」を決める村長選には多くの生徒たちが立候補。リーダーとしての抱負を訴えました。

修了証・修了章授与

2日間の貴重な体験を得た生徒たち。学校生活の中で友だちにここで学んだことを伝えたいという声も聞かれました。

多くのフォロワーを持つリーダーを目指します

豊里中学校 1年 山内 菜摘

私は今回、後期生徒会執行委員候補として何かの役に立てられたいと思い、トレセンに参加しました。このトレセンで特に印象に残っていることは、「良いリーダーとは」という研修で、良いリーダーの条件やフォロワーの重要性を学んだことです。今まで私は「リーダーは完璧でなければいけない」という思いもありましたが、この研修を受けて、完璧なリーダーにはそう簡単にはなれないけれど、多くのフォロワーがいるリーダーにはなれることを知り、私もフォロワーがたくさんいるリーダーになりたいと思うようになりました。スタンツでも、みんなの長所を生かすことが大切ということを学ばせてもらいました。

ここで学んだことを生徒会活動に生かしていきます

橋北中学校 2年 河内 胡々菜

とくに印象に残った研修はスタンツです。仲間たちと協力して、全てイチから決めて行動することができ、この2日間で自分たちは何を学んだのかを元に分かりやすい劇をすることができました。1日目のときは、みんなに話しかけづらくて、人の名前をしっかりと覚えていなかったのですが、2日目のスタンツのときには協力して考えて劇をしたりして、とても仲よくなれて楽しかったです。私はここで学んだことを生かして、生徒会で活躍していけたらいいなと思いました。トレセンに参加することができて、また新たなことを学ぶことができたことが嬉しかったです。

高校生

高等学校トレセン参加校
北部校…四日市四郷高校・白子高校・飯野高校・久居農林高校
南部校…伊勢高校・木本高校・紀南高校・東紀州くろしお学園

令和4年8月5日(金) 全体トレセン
8日(月) 北部校トレセン
17日(水) 南部校トレセン

研修「良いリーダーとは」

グループの中でリーダーとそれを支えるフォロワーの関係性の大切さという視点に触れて、生徒たちは新たな気づきを得ることができました。

グループワークではそれぞれのグループが与えられた課題の解決のために協力し合いました。

アイスブレイキング

楽器や果物などお題に沿った内容を記入したカードを交換。自分の持っているカードの内容を他のメンバーに質問して当てるゲームを実施。初めて顔を合わせた生徒同士の距離が縮まりました。

防災教育

災害時にどのような行動が必要となるか、情報収集の大切さなど、ゲーム形式も交えながら学びました。

当事者として物事を見ることの大切さを学びました。

非常食炊き出し

「ハイゼックス袋」を利用してお米を炊き、避難所生活での非常食の作り方を実践しました。

コロナ禍だからこそ学べたこともありました

木本高校 3年 西 洸太郎

1年前に前県リーダーと交代したときは北部と南部別開催のチャレンジ研修会でした。今回、三重県の全てのJRC部と交流できたことがとても嬉しかったです。午後からのワークショップでは、普段のリーダー役とは違い、リーダーをサポートする役に回りましたが、リーダーは周りに話し合えるサポーターがいることで、より目標実現ができるものと感じ、今まで自分が県リーダーとしての方の支えがあつたそのものなんだと感じました。3年間、コロナ禍のままJRC部の活動が終わってしまったのは残念ですが、コロナ禍だからこそ学べたことも多くあったので、JRC部に入ってよかったと思いました。

2年間での成長を実感できました

白子高等学校 3年 服部 恭吾

今回のトレセンで自分自身の目標として、当事者意識を持つ、持ってもらうこととしてプレゼンの準備などを行いました。その中で感じたことは、考えているだけでは何もならないということです。考えて、行動して初めて当事者意識を持てるのではないかと思います。研修を通じて、自分には何ができるか、何が必要かを考える事が大切だと思いました。また、それを他の人に言葉にして伝えることで助け合いになるのだとも。進行の中でたくさんのアクシデントがありましたが、以前の自分より臨機応変に対応できたので、成長できていると実感できました。2年間で学んだことを、「思ったら実行する」をモットーにこれからも活動していければと思います!

リーダー引き継ぎ

1年間リーダーを務めてきた白子高校・服部くん、木本高校・西くんの2人から、新リーダーとなる木本高校2年・中田さん、木本高校2年・榎さんの2人へと引き継ぎが行われました。

修了証・修了章授与

2日間の研修を終えた生徒たち。「積極的に取り組むことで見えてくるものがある」「他の人の課題にも当事者として一緒に考えることで話し合いの幅が広がる」といった感想も聞かれました。